

令和 6 年度(2024 年度) 年間授業計画表

学年	1	コース	全コース	選択形態	必須	科目	家庭基礎	単位	1	
学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協力・協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。									
使用教科書	家庭基礎（東書 家基 701）	副教材	家庭基礎学習ノート	予定時間数	35	実施時間数				
単元と内容										
1学期	家庭科の学び方・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動			家庭科の学び方・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。自己の家庭生活および地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする力を身に付ける。						
	楽しく学べるマナーの基本			正しく制服を着用する意味を理解し、身だしなみを整えるなど、社会に出た時に役立つ基本的なマナーやルールを理解する						
	食生活をつくる			よりよい食習慣を身に付け、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 1：食生活の課題について考える 2：食事と栄養・食品 3：食生活の選択と安全 4：生涯の健康を見通した食事計画						
	防災教育			未曾有の災害に対応できる正しい知識を身に付け、答えのない問に対し、自ら思考し、即座に判断して行動・解決できる力を養う。また、他者と協力し、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる技術の習得を目指す。 5：調理の基礎 6：食生活の文化と知恵 7：これからの食生活						
2学期	食生活をつくる			第3章 食事のマナー 日本食 西洋料理 世界の食文化 調理実習						
	食事のマナー			1：被服の役割を考える 2：被服を入手する 3：被服を管理する 4：衣生活の文化と知恵 5：これからの衣生活						
	衣生活をつくる			1：持続可能な社会を目指して						
	持続可能な生活を営む									
評価										
評価の観点			評価の趣旨			評価対象				
						1学期末	2学期末	学年末		
①	知識・技能		生活を主体的に営むために必要な人の一生涯、家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活・環境などの基礎的な知識を理解し、実践しようとする技術・技能を身に付けている。			○	○	○		
②	思考力・判断力・表現力		生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。			○	○	○		
③	主体的に学びに向かう態度		様々な人々と協力・協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域の生活を創造し、実践しようとしている。			○	○	○		
評価方法例	①			②			③			
	定期考査 70%			定期考査 70%			定期考査 70%			
	レポート 20%			各種発表・まとめ 30%			レポート 30%			
	相互評価 10%									